

『21世紀の資本』

- 格差拡大の要因「r>g」
  - 「r>g」
    - 資本収益率（r）が経済成長率（g）を上回る
    - 資本家の収入は経済全体の成長より大きい
    - 1970年代以降、先進国では顕著
  - 
    - 上位10%の人々が全体の50%以上保有
    - 下位50%の人々の資産はわずか5%程度
    - 資産の保有
  - 格差拡大へ → 社会の分断や政治の不安定化を招く恐れ
- 資本主義の変遷と「21世紀の資本」
  - 1700年代 → 資本家が国民資本を独占状態 ➡
  - 1910年〜 → 戦争や恐慌で国民資本が低下 ⬇
  - 
    - 上がり続け、1700年代の水準に迫っている ⬆
    - 🇬🇧 🇫🇷 の国民資本は国民所得の6〜7倍に
    - 2010年〜
- 格差是正に向けた政策提言
  - 格差の実態
    - アメリカ上位1%の人たちの所得
    - ⇒ 1981年に全体の8.2%だった
    - ⇒ 2012年には倍以上の20%に上昇
  - 
    - 資産を海外移動するリスク → 国際条約締結も
    - 累進的な資本課税 → 富の再分配を図る
    - 組合せ
      - ☑ 財産税（最高税率2%）
      - ☑ 累進所得税（最高税率80%）
    - 政策提言